

# 在京花巻人

発行 在京花巻人会  
連絡事務所

東京都千代田区飯田橋  
4-4-8 東京中央ビル603号  
電話 03-6256-8082

## 平成29年度の活動方針

在京花巻人会会長 瀬川 紘一



今年もすでに5月となり、恒例の「第32回在京花巻人のつどい」の開催まで2か月を切りました。今年は、日時は7月8日(土) 午前11時から、会場は昨年と同じ御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開催致します。皆様には、是非ご参加頂きますようお願いを申し上げます。

ところで、オックスフォード英語辞典が、「2016年の言葉(Word of the year)」として「ポスト真実(Post-truth)」を選んだことが話題になっています。Postとは「次の」の他に「脱」という意味があり「重要ではな

い」という意味にもなります。「客観的事実より、むしろ感情や個人的信条へのアピールがより影響力がある時代」ということのようにです。昨年6月のイギリスのEU離脱を問う国民投票、同11月の米大統領選挙の結果を反映しての選挙と説明されました。

このところ日本でも、「アベノミクス」「原発継続」「安保法制」等々、事実が軽視ないし無視される中で政策が実現されていることに苛立を覚えているので、この言葉は日本にも当てはまると妙に納得させられました。しかも多くの人々がそれを気にもとめないでいることに驚くと共に、この時代の空気に流されるのが心配です。

この背景には、人々がネット社会の出現でパーソナルな空間にリアリティを感じるように、事実と虚構の境目が曖昧

になっていく状況もあるでしょう。又、米国で進化した論を否定するキリスト教福音派がトランプ氏を強力に支持したり、日本でも神話上の人物である神武天皇の偉業に立ち戻り国家神道を取り戻すと公言する防衛大臣がいたり、宗教が政治に入り込んでくるのが一定の人々に容認されている現状もあります。「Post-truth」は根の深い現象で一筋縄ではいかない、相当な覚悟で見守る必要があるように思います。

運営していきたいと思えます。今年度の活動方針も昨年と同様、会員同士の親睦を図ること、ふる里花巻の活性化への貢献の二本柱です。会員同士の親睦については、これまでの活動に加えて特に花巻の他の在京ふるさと会の活動への参加を呼びかけ、親睦の輪を広げたいと思います。それぞれの「集い」への参加はもとより、石鳥谷の「お花見クルーズ」や東和の「新井薬師節分会の丹内獅子躍」等への会員の参加の呼びかけを考えています。私達の「歩こう会」にも、他の会からの参加を大いに歓迎したいと思

います。ふる里花巻の活性化への貢献は、今年度は特に情報の発信に力を入れたと思います。今花巻は、マルカン食堂の再開など中心市街地の活性化が動き出し、地元の商品が全国的に高い評価を受けるなど、活発な動きがみられます。この動きを会報やメルマガ「熊タイムズ」で紹介し、又、昨年の集いで家守舎の小友さんに来て頂いたように地元との人的交流を続けることで、会員の花巻への関心を高め、移住や長期滞在者の増加や「イーハトーブ花巻応援寄付金」の増加につなげられればと思います。昨年度目指した会員のアイデアの地元での活用は、組織的にはまだ手がついて

### 会費納入のお願いと 納入状況の報告

#### 1. 平成29年度会費納入のお願い

在京花巻人会の運営に多くのご協力を賜りありがとうございます。花巻人会は会員の皆様からのお振込みいただいた会費で運営させていただいております。

会費は会員の親睦を兼ねて7月上旬に開催する「花巻人のつどい」、年3回の「会報」の発行、また年数回の「歩こう会」等に使用させていただいております。

29年度の会費3,000円につきましては同封の振込取扱票(手数料不要)で最寄りの郵便局から下記口座にお振込みいただきますようお願い申し上げます。在京花巻人会会長 瀬川 紘一

記

口座名義 在京花巻人会  
口座記号番号 00240-6-111794

#### 2. 平成28年度の会費納入のお礼と納入状況報告

28年度の会費納入額は、3月末現在295名885,000円、この他5名の方から23,000円の寄付をいただき合計908,000円でした。会員皆様のご理解とご協力に感謝しお礼を申し上げます。

会計担当 高橋良光・板垣雅子

#### 平成29年度

#### 「第32回在京花巻人のつどい」のお知らせ

日時:平成29年7月8日(土) 11時~14時  
会場:東京ガーデンパレス  
住所:東京都文京区湯島1-7-5  
電話:03-3813-6211  
アクセス:JR御茶ノ水駅 聖橋口改札

題と考えています。詳しい活動計画については、「平成29年度在京花巻人のつどい」の総会でご提案させて頂きます。是非、ご参加頂きご審議頂きますようお願い申し上げます。

# 会員の活動報告コーナー

2月3日

## 「新井薬師で奉納舞」

理事 板垣 雅子

境内ではほんのりと紅い梅や寒桜が咲き始めたところで、春めいた陽射しが嬉しい感じでした。

2月3日は節分の日です。毎年この日には花巻の数ある流派（春日流鹿踊り等）の中から丹内金津流獅子躍の二団がやって来て中野区の新井薬師の境内で舞を奉納した後、中野サンプラザまで太鼓を鳴らしながら行進し演舞を披露する日でもあります。この獅子躍は花巻人会報やメルマガで何度か紹介しています。が、在京東和町友会名誉会長の佐々木幸三さんが20数年前に縁あって招聘したもので、以来ずーっと続いています。正式名・新井山梅照院薬王寺は目のご利益と子育て薬師で有名なところですが、



送った後失礼したのですが、サンプラザの方にもふるさと会の人達が何人も顔を揃えて応援していたと後で聞きました。当日遠路はるばる東和からバスで来られた獅子躍の皆さんも勇気づけられたことだろうと思います。毎年行われているイベントですので、皆様も「2月3日 12時・新井薬師で奉納舞―中野へのパレードの後サンプラザ前で演舞」と記憶しておき是非応援に駆けつけて下さい。皆さんで観ると行進も待ち時間もきつと楽しいですよ。

山門の外に出て、軽いリズムで太鼓を鳴らしながら参道を歩いて境内に入り、暫し祈りを捧げた後ダンダンダダスコダンと太鼓が鳴り響き、雄獅子を中心にまず「三光の礼」が始まりました。所謂祈願の舞と謡い（祝詞?）が延々と続く奉納舞で、今までのお祭りやイベント会場での演舞とはまた違つてとても新鮮でした。又、境内という静寂な環境のせいかなと共太鼓の音がとても心に響き30分以上の演舞があつたと言つ間に終わりました。（三光とは太陽月・星）

演舞終了後、獅子や鬼、観客達は中野サンプラザ目指し隊列を組んで行進して行きました。が、本番の豆まきは境内に帰って来てからのこと。我々は隊列を見

送った後失礼したのですが、サンプラザの方にもふるさと会の人達が何人も顔を揃えて応援していたと後で聞きました。当日遠路はるばる東和からバスで来られた獅子躍の皆さんも勇気づけられたことだろうと思います。毎年行われているイベントですので、皆様も「2月3日 12時・新井薬師で奉納舞―中野へのパレードの後サンプラザ前で演舞」と記憶しておき是非応援に駆けつけて下さい。皆さんで観ると行進も待ち時間もきつと楽しいですよ。

## 岩手県人連合会「新春懇談会」開催

監事 照井 稔

恒例の岩手県人連合会新春懇談会が2月5日、日暮里のホテルラングウッドで開催され、加盟する各ふるさと会などから約200名が集い懇親を深めました。

会長の瀬川爾朗さんは挨拶の中で連合会ホームページにリンクする「瀬川会長のお話」を覗いてほしい旨のお話があり、岩手県東京事務所長の島山さんからは歌舞伎座前

のアンテナショップ「いわて銀河プラザ」に仲間と一緒に足を運んでもらいたいとお話がありました。

余興は「新春の調べ」と題し、尺八と琴の共演で啄木の短歌に由来する「やわらかに」など3曲を鑑賞することができました。尺八の演奏はヨーロッパやアメリカなど海外10か国で50回以上の公演を行っている琴古流尺八師範の高橋法聖さん、琴の演奏は国内外で活躍している、正派大師範の宇野雅栄恵さんにより季節にふさわしい調べを心行くまで楽しませていただきました。最後に演奏した「北国の春」は、しみみりとした調べが心を打ち参加者一同聞き入つておりました。在京花巻ふるさと会からは、瀬川会長、在京大迫人会の内村会長、在京東和町友会の蟹沢会長ほか有志が出席し、午後3時のお開きとなりました。

岩手県人連合会は、毎年この新春懇談会のほか6月に「総会と懇親会」を開催します。どちらも100団体以上の岩手県の在京ふるさと会から多数参加者が集まるので、同じ岩手つながりで思わぬ出会いがあるのが魅力です。今年の「平成29年度総会と懇親会」は、6月4日（日曜日）11時から同じ日暮里のホテルラングウッドで開催されます。どなたでも出席できますので、関心のある方は副会長・高橋良光（携帯090-5448-8198）までご一報ください。



## 花巻観光物産展 in 平塚

副会長 島山 秀

二月十六日～十九日まで友好都市平塚市のひらつか市民プラザに於いて恒例の花巻観光物産展が開催されました。開催に先立って平塚市都市提携委員会の平野委員長様から挨拶があり、平塚市には花巻市、高山市、伊豆



市と三つの友好都市があり毎年物産展が開催されておりですが、花巻が一番古くて今年が三十二回目となり、人気も高く年々定着したお客様が増えており貢献度が高いと褒めて頂きました。今年も十時の開店前から多くのお客様が並び盛況でした。金婚亭のキムチや農協のりんごは相変わらずの大人気で多くのお客様の列が出来ておりました。金婚亭の阿部社長様に人気の秘密をお聞きしましたところ、平塚市とは友好都市が提携される三年前からの長いお付き合いで、市民の皆様にご信頼されているお陰ですと語っておられました。今こうして思い出しますのは在京花巻人会の理事が総出で物産販売を手伝っていた頃のことです。

す。ちぢみほつれん草やターツァイ、曲がり葱大根など冬ならでは野菜や握っても握っても売りに売れた大きな味噌にぎりなどあの頃は忙しかつたー楽しかったーと今でも懐かしく思い出します。しかし、千葉や埼玉から理事が通うのに平塚は遠過ぎたこと、理事たちの年齢が上がって体力的に追いつかなくなつたことなどで残念ながらだんだん販売のお手伝いができなくなつて行きました。現在ではあの頃の関係者がいつの間にか二代目になっていたりして随分変わつてしまいましたが、三代目、四代目と長く続いて行きますよう創意工夫と熱い情熱で頑張つて行つて貰いたいと心から願つております。



古川 精一さん

去る3月25日(土)、バリトン歌手の古川精一

古川精一さん  
フォレストの澤田薫さん  
と演奏会

さんがコーラスグループ「フォレスト」のテノール歌手澤田薫さんをゲストに迎えて西麻布のバー・ジュービリーで演奏会を開きました。

古川さんはお父様が花巻の方、お祖父様が宮澤賢治の教え子という花巻に深いご縁のある方、一方澤田さんも岩手の山田町出身ということ、岩手つながりのご縁のあるお二人でした。

演奏会は18時30分にスタート、25人ほどの小さい会場でしたがオペラの Aria からイタリア民謡、さらには日本の歌曲やポップスまで幅広く歌い上げ、会場は大いに盛り上がりました。特にオペラ「運命の力」の決闘の場面の二人の二重唱は迫力満点で、観客一同感激しました。

澤田さんは、東日本大地震で新築の実家が津波で流されるという被害を受けたとのこと。

震災の復興支援にも力を入れていますが、古川さんとお二人で宮古でも復興支援のジョイント・コンサートを実施したとのこと。

二部では、澤田さんが

尾崎紀世彦の「また逢う日まで」、古川さんは映画「喜びも悲しみも幾年月」の主題歌を歌うなど、観客はアルコールも入りくだけた雰囲気の中で、お二人の歌合戦が展開されました。本当に素晴らしいコンサートでした。(編集部)

「東北かけはしフェア」で  
花巻物産展

3月4日(土)、江東区のイトーヨーカ堂北砂アリオ店で開催された「東北かけはしフェア」のオープニングセレモニーに上田市長が出席し、自ら花巻の物産をPRされ



ました。このフェアは3月4日(土)、5日(日)の二日間行われました。

このイベントは、セブンアイ・ホールディング他20社が参加、復興庁と農水省が後援する「食へて応援しよう!」という

復興支援活動の一環です。1階のコナーには福島、宮城、岩手の物産が展示・販売されました。花巻市はイトーヨーカ堂と業務提携をしております、このイベントでも花巻物産のコナーが設けられました。丸一漬物店、白金豚の高源精麦、亀屋

が出演、それ以外の商品は観光協会が引き受けて販売をしていました。オープニングセレモニーは、イベントホールに舞台が設置されて行われました。まず、福島のスパリゾート・ハワイアンズのダンサーによるフラダンスがあり、その後3時40分頃に「春日流鍋

倉鹿踊り」が登場し演舞が披露され、熱演に盛んな拍手がおくられていました。鹿踊りの演舞のあと上田市長が登場、花

巻市の紹介があり、さらに佐藤農園の「生ほし葡萄」と「葡萄ジュース」が市長とのじゃんけん大会の勝者への賞品として提供されました。

在京花巻ふるさと会のメンバーが10名以上イベントに参加しましたが、市長の熱心なPRぶりに一同感激した様子でした。(編集部)

日本橋お花見  
クルーズに参加して

去る4月3日(水)、日本橋の河岸を出発するお花見クルーズに参加してきました。参加者は幹事の石鳥谷町人会は勿論、花巻、東和の各ふるさと会からも多数参加し、合計30名ほどの参加で大盛況でした。

11時に日本橋河岸を出発、日本橋川を後楽園まで遡り神田川に入り隅田



川まで下り、さらに隅田川を永代橋まで下り大横川に入り桜並木をめぐるというコースでした。100分のクルーズは、桜がまだ5分咲きほどで今一つでしたが、日本橋川では江戸城の石垣があちこちに見られ、又、50本を超える橋をくぐり抜けるなど、興味の尽きないものでした。

下船後は、日本橋の江南春という老舗の中華料理店で懇親会。冷え切つた体に暖かい紹興酒で生き返つた参加者の皆さんは大いに盛り上がりました。

毎年恒例となっているイベントですが、来年も是非各ふるさと会の会員の皆様に参加をお勧めしたいと思ひます。(編集部)

## 《はなまき あれこれ》

### マルカンビル6階大食堂再開 —1階も新装開店 カフェやキッズ、雑貨販売—

花巻市の上町家守舎（小友康広代表取締役）が運営を引き継いだ同市上町のマルカンビルの6階大食堂が2月20日に復活オープンした。多くのファンが押し寄せた初日の賑わいは、ネットなど多くのメディアで取り上げられた。

これに先立ち、1月12日には同ビルで「マルカンの未来を語ろう！」と銘打った市民ミーティングが開かれ約100人が参加した。上町家守舎の小友氏から運営引継ぎの経緯が説明され、参加者と共にマルカンの新たな形を探った。大食堂を皆の場所と位置づけ、今後の構想にも直接対話を重視するという家守舎らしさが伝わる初会合となった。

又、1階フロアも大きく様変わりして同時オープンした。カフェ、キッズ、マーケットをテーマに木材を多用したゆったりとくつろげる空間づくりを心掛ける。運営するMarble+（マーブルプラス）の高橋久美子代表は「いつでも長く居たい場所にしたい」と意気込んだ。

正面入口をはいると、木材で手作りした机と椅子が並ぶカフェスペースが広がる。独自ブレンドのコーヒーの香りが買物客を出迎えた。右手奥にキッズスペースを設置。子ども連れが遊具などで、のんび

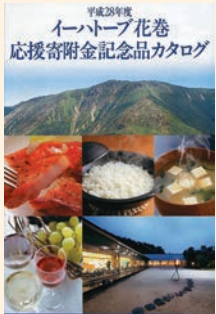
りと時間を過ごしていた。

「5 SEASON（ファイブシーズン）」と名付けた雑貨販売ブースは地元の伝統工芸や郷土の味を楽しく紹介する。花巻市内の小田島民芸所の和紙張り子は干支の酉（税別1700円）に、よく見るとマルカン名物のソフトクリームが描かれている。高橋代表は「じっと見ないと気付かないけれど、ユーモアがあっていい。後継者不足でこれで最後という商品もある。6階大食堂がみんなのダイニングなら、1階はみんなが語り、集まれる場所にしていきたい」と将来像を描いた。



マルカン食堂

### 「イーハトーブ花巻応援寄付金」記念品カタログ作成について



花巻市では、ふるさと納税制度を活用し、「イーハトーブ花巻応援寄付金」として市内で生産・製造された商品や、市内温泉の宿泊券等を寄付者の皆様へ記念品として提供し、花巻市の魅力を感じていただく取り組みを行っています。

昨年12月、市の魅力を伝える記念品をより詳しく紹介するため、花巻市は「記念品カタログ」を作成しました。広く寄付金への協力を呼びかける強力なツールとな

ると期待されます。

パンフレットは46頁、「ふるさと納税とは」の詳しい説明から始まって、農産品やその加工品、お酒や調味料、飲料や菓子、それに旅行など多種多様な記念品が寄付金の額と共に掲載されています。最後の頁は「イーハトーブ花巻応援寄付金申出書」になっています。一度手に取って見られては如何でしょうか。

#### 【申し出・お問い合わせ先】

花巻市役所政策部秘書政策課定住推進係  
〒025-8601花巻市花城町9番30号  
TEL 0198-24-2111(内線213・214)  
FAX 0198-24-0259

### 総合花巻病院移転整備計画が進展

厚生病院が北上市に移転して以来、花巻市民の健康と生命を守る病院が課題となっていました。花巻病院の厚生病院跡地への移転新築が検討されてきました。一昨年の11月に移転整備基本構想案が公表され、昨年12月移転整備基本計画が策定され公表されました。

総事業費99億円、一般病床数188床の病院棟のほか、85室の特定入居者生活介護施設、定員120名の看護学校棟、それに定員54人の保育棟が建設されます。これにより、リハビリや在宅復帰に向けた医療の充実、入院病床と外来機能を備えた病院施設を中心に、サービス付き高齢者向け住宅や高等看護専門

学校、地域枠を設けた保育所も整備する計画です。

去年12月後半には、五つの地域で市民説明会が開催されました。市民側からは、活発な質問がなされましたが、全国的に医師不足となっている産科の医療体制や非常勤医師対応の泌尿器科などの医療サービスへの不安も示されました。産科については、産科医師や助産婦の体制が整った際には、通常分娩に限って出産の受け入れを検討するとしています。

今年度に着工し、平成31年度の移転開業を目指しますが、新病院は市の「まちなか」において地域医療の中核を担い続けて行くことが期待されています。

(広報はなまき12月15日号他より)

## 認定！ 花巻クラフトワイン・シードル特区

花巻市は11月29日、内閣府の「構造改革特別区域計画」の第41回認定において、ワインやシードル(りんご酒)などの果実酒では県内で初となる構造改革特別区域計画「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受けました。

**構造改革特別区域(特区)制度**とは地域の特色を生かした産業の創出や地域経済を活性化するため、国が全国一律で行っている規制を、地域限定で緩和する制度です。

市では特区認定によって、酒類製造免許の取得について次の特例措置を受けられるようになります。

### その1) 特定農業者による特定酒類の製造事業

自ら生産した果実を原料とした果実酒を製造する農業者が、自己の経営するレストランや民宿などで果実酒(ワインやシードルなど)を提供する場合、酒類製造免許に係る最低製造数量基準(年間6000ℓ)の適用を受けることなく(小規模でも製造が可能となる)、食事とともに提供できるようになります。

### その2) 特産酒類の製造事業

特区計画で地域の特産物として指定された農産物(ブドウ、リンゴ、西洋ナシ、ブルーベリー、ウメ)を原料とした果実酒またはリキュールを製造する場

合、酒類製造免許に係る最低製造数量基準をさらに果実酒(年間2000ℓ)、リキュール(年間1000ℓ)にそれぞれ引き下げられます。製造数量基準を下げられたことにより果実酒・リキュールを比較的容易に製造することが出来、直営のレストランなどで提供出来るほか、特区内外に販売出来るようになります(販売には販売業免許が必要)。

※1)、2) どちらのケースでも、製造には酒類製造免許が必要です。

### 同特区認定による期待

以上の特例措置により、市内で生産された果実を原料とした酒類の製造が小規模な施設でも可能となります。これによって果実の高付加価値化による農業者所得や生産意欲の向上が計られると共に、移住事業と連動して市外からの移住者や新規就農者などによる担い手の確保を図ることが期待されます。

市は今後、既存ワイナリーや県工業技術センターと連携しながら適正な酒類製造免許取得や事業化に向けた支援を行っていきます。

### 【問い合わせ】

本庁秘書政策課 (0198-24-2111 内線212)

(広報はなまき12月15日号より)

## 新花巻駅を題材とした自主製作映画「ネクタイを締めた百姓一揆」

昭和46年、東北新幹線建設にあたって花巻市が岩手県停車駅の選定から漏れていることが判りました。この時、落胆する市民の中から有志が立ち上がり、それから14年間に及ぶ国や国鉄への市民、花巻市、岩手県一体となった運動によって、ついに「新花巻駅」が誕生しました。この熱い物語は、実のところ市民にはあまり知られていません。

この物語を映画にしようと、製作実行委員会のもと自主製作体制により平成26年9月クランクイン。現在県内での撮影を終え編集の作業もスタート、6月完成予定が遅れて年内上映を目指して努力中とのこと。スタッフ及びキャストは、花巻は勿論のこと県内の各市町村からボランティアが集まり製作に取り組んでいます。

映画完成後の上映は、関東での上映も視野に入れ

ているとのこと。在京花巻人会に対して、関東での上映の際は協力をお願いしたいとの手紙が寄せられており、会としては是非協力したいと思います。上映の日時や場所については改めてお知らせがあるものと思いますが、その際には皆様にもご案内致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

なお、製作の詳しい内容については、

『ホームページ「ネクタイを締めた百姓一揆」

<http://shinhana-eiga.com/>』を参照下さい。

映画製作実行委員会は、名誉実行委員長が伊藤明子花巻東高校理事長、事務局は花巻牛乳株式会社 代表取締役 小原良猛氏です。又、この映画製作には、花巻市、花巻市議会、花巻商工会議所、花巻農業協同組合ほか、花巻市のほとんどの団体が後援しています。(編集部)

## 花巻飲食店情報誌《注文が多い料理店vol.2》について

一般社団法人 花巻観光協会は、昨年8月に「注文が多い料理店vol.2」という飲食店情報誌を発行しました。(「vol.1」は一昨年11月に発行されており紹介されている飲食店の内容はほぼ同様でした。) これまでも色々なパンフレットがあり、それなりに情報はあったのですが、バラバラで使い難い面もあったように思います。今回のパンフレットは、体裁もユニークで内容も豊富な上にまとまっており、使い勝手が良いので紹介したいと思います。

表紙と裏表紙は猫のイラストで、賢治の「注文の多い料理店」を彷彿とさせる楽しい絵になっています。さらに、表紙からは「お食事処編」の頁が始まり、裏表紙からは「夜も営業のお店編」の頁が始まる体裁になっていて便利です。「お食事処編」には

少ないですが石鳥谷、東和、大迫のお店も掲載されています。又、特別抽選や入浴券もついているなど、読者を楽しませる工夫もなかなかなのです。

花巻観光協会のホームページでこのデジタル版が見られますし、昨年11月の特別抽選結果も見られます。一度、デジタル版を見られることをお勧めします。

### 【連絡先】

花巻観光協会 〒025-0004 花巻市葛3-183-1

TEL 0198-29-4522

FAX 0198-29-4447





# カスリン・アイオン台風の被害 ： 瀬川の切り替えへ (第三回)



会員 北山 郁子  
(花中33年卒)

二年続きの台風は花巻地方に大打撃を与えました。終戦直前の四五年八月一〇日、花巻の中心部は空襲を受け、商店街中心に六七三戸焼け出されました。その傷も癒えぬまま、二年続けての水害で今度は農地や田畑は収穫前の大損害を被つたのでした。アイオン台風が去つて一月後の一〇月一八日、花巻町議会は本会議において水害対策に関する次のような決議を採択しています。

「昨年水害の傷痍未だ回復を見ない間に、アイオン台風が襲来、再び未曾有の災禍を及ぼし多数の人命を奪い、一二〇億

の財産を破壊流失したことは誠に痛嘆に堪えない。この数次の被害によつて水害が自然の偶発事ではなく、治山治水の放置された現状では毎年同様の惨事を繰り返し、一〇〇万県民の生活に対する重大な脅威となることを認識すると同時に、

一年前の決議と比べ花巻地方だけの問題としたものではなく、広く県全体の取り組みべきテーマという内容になっていきます。「昨年の復旧個所のほとんど全部、再び破壊された状況に鑑み、上流に於ける植林、砂防、洪水調整ダム等その根源に遡つて抜本的処置を行い、道路、橋梁、堤防等も単なる原型復旧主義によらず適切即応の効果的対策を実行する必要を痛感するものである。即ち、  
一、国及び県の植林砂防等治山対策を促進すること  
二、北上川治水計画を促進し五大ダムと護岸堤防工事の早急完成を期すること  
三、町内の被害個所の復

旧に努めると共に適当な補強工事を施し水害なき町をつくること  
以上の諸点を目標として県及び関係市町村と緊密な連携のもとに町民の協力を得、之が対策を強く推進することを期するものである。右決議する」

一年前の決議と比べ花巻地方だけの問題としたものではなく、広く県全体の取り組みべきテーマという内容になっていきます。「昨年の復旧個所のほとんど全部、再び破壊された」という文言には痛切な思いを含み、もうコリゴリだ、なんとか治山治水の根源的な解決の対策を講じてほしいという悲鳴が聞こえてくる決議だと思えます。(略)

さて、(略)瀬川の切り替え工事問題が本格的な動きとして登場するのは、アイオン台風の翌年四九年一〇月二一日開会の第八回花巻町議会においての北山町長の報告でありました。

北山町長は、北上川の改修工事に関して「本町(花巻町)の関係は、小

舟渡・外台であります。護岸工事は二五年度(一九五〇年度)を予定し、(北上川)予算は二五億円と承知してあります」「瀬川の切り替え予定線二カ所(煉瓦場西側と小舟渡縦断)を測量し、土地の問題について宮野目村長と協議中であります」と、議会に対して報告しています。ここで、興味深いのは「右手の昭和史」のなかの、父の話の次のくだりです。

朝日橋の上流の所へ真直ぐに北上(川)に抜けるようにしたんです。私も出来ると思つてなかつたんです。ところが情報を得たんですね、確か昭和二十四(四九年)だったと思うんですけども、その情報を私に知らせてくれたのは高田弥市さん(元衆議院議員)だったという記憶があるんですよ。これはぼんやりしてますけどね。なんで知らしてくれただか解らんですけど。とにかく当時アメリカの余剰農産物を日本にくれたでしょ。それを売った、処分した金を特別会計に積み立てていた。その運用金はその年に限って猿カ石ダムの費用に出してくれると。従つて北上川改修の予算がそれだけ余裕が出る、余裕が出るからどこか新規のね工事をやるかも知れんよ

「瀬川の切り替えという問題、これは大事業としてね。グルッと町を回つておたつたやつをね、



当時の消防ポンプ

と、いう情報を得たのも、昭和二十四(四九年)だっただけで、町議会報告の前の一〇月以前に貴重な情報を得たうえで、何らかの感触を掴んで宮野目村長との交渉を始め、議会へ報告したと考えられます。その後、一月二四日に上京し建設省に陳情、二月二日には東北地方建設局に陳情したという記録が残されています。

そこまではトントン拍子にことは進んだようですが、用地取得問題が難航して説得にかなりの時間を費やしたのでした。「右手の昭和史」のなかで、この件の苦勞を語っています。  
「土地がね敷地の半分が宮野目村にかつてたもんですからね、その解決のために、大変めんどうしました。というのは、宮野目村の方では花巻町というものはいじめられたと昔からだまされ



当時の街並み

「その時町長と話したことは旧花巻町を水害から防止することも文化生活のうちじゃないだろつか、文化というところはよく解らんがね。そついうことからはじめましてね、北山町長さんは一懸命やりました。私は二〇〇万円、三〇〇万円使っても

たど。今度もそうだろうというわけだね、なかなか納得を得られんでね、結局、建設省から出る金が少ないので、向こうが要求するまでの差額は町が出す、ということに解決したんです」

「三田勇治さん(元泉会議員)ね、あの人は宮野目出身なものですから、三田さんと一緒に何回も何回も集会に行つて、やつとはんこを買つてやった仕事です」

取得に当たり一部の住民に反対があり、交渉が長引いた。計画の一部を変更して、昭和二五年度に至り北上川上流工事事務所による直轄直営工事として着工した」とありま

復興させなさいけないじゃないか、とつと、なかには国の仕事であるから町の力ネを使うことはいらないんだ、と及川亀治助役がいったもんだから北山町長はそんなバカなことがあるか、一体町民が恩恵を蒙ることを町の金を使って差しつかえないんじゃないか、と

瀬川という川は小さい川だから大したことはないと思つて、四〇〇万円ぐらいで済むと思つていたんです。ところがなかなかもつて難物でしてね、一億数千万円か、もつとかかつたでしよう」と、父は気の毒そうに回想していました。建設省もびつくりするほどの暴れん坊だった瀬川は、その後ショートカット事業の完成によつておとなしくなつて、花巻の町は長年にわたつて苦しんだ水害の被害から解放されることになつたのでした。また、北上川堤防の改修工事も各市町村長と一緒に連携して運動を続けた結果、五一年特定地域開発の政府指定となり、猿ヶ石川のダムについては、これもまた四五年その完成を見たのでした。(略)

る」ということでした。被害の大きかった一関地帯を視察に行つて、その惨憺たる情景を見たとき、とくに強く思つたと父が話していたのを、私は子どもではありましたがしつかり記憶しています。父にしてみれば、数年前には召集されて戦地の真只中の非常事態なかで生きていたのであり、思わずそついう実感がわき起こつてきたのは自然なことだったのでしよう。



北山氏

八木英三著の「花巻町史稿」には、交渉は約一年続き、伊藤議長が妥協案として当時としては法外の「一反歩五万円」案を提示してようやく買収に成功し、花巻町として一〇〇万円を支出し、町の有志が一〇万円を町に寄付したということが書かれています。切り換え用地の面積は約五町歩で、五〇年(昭和二五年)一二月八日に売買契約が締結されました。

この二つの水害の惨状を前にして、父が行政の長として痛切に思つた、というよりなんとかせねばという切迫感で頭にひらめいたことがありました。「軍隊ならば、早急に行動して、復旧させられ

数年後、父が国会議員となつて社会党の政策作成に携わつた一年生議員の五三年、最初につくつた政策は、警察予備隊(五四年自衛隊と改称)を災害復旧のスペシャリスト集団に変える「平和国土建設隊設置要綱」の草案でした。その後五八年の第一四回全国党大会において正式に社会党の

政策となりました。これは、町長が災害のたびに苦勞した経験を基にして、建設的、実地的な政策として作成されたものです。それから三〇年以上もたった九〇年七月の『政治情報』(北山研究所発行)のコラムに、「もし自衛隊が平和部隊に改編される日が来るとしたら、平和国土建設隊の任務のなかに、自然環境の保護、海外の災害救護技術の無償協力などを追加してもらいたい」と書き残しています。

## 宿場町400年の大迫「宿場の雛まつり」開催



元和三年（1617年）南部利直公が大迫を遠野街道の宿場町とすることを命じてから400年、今年も大迫では第20回目となる「おおはさま宿場の雛まつり」が、2月24日から3月5日にかけて開催されました。

大迫交流センターをメイン会場に、過去最多となる町内35か所の会場で、大迫町の家々で受け継がれてきたひな人形が展示されました。江戸時代の享保ひなや次郎左衛門ひな、さらには、花巻人形など様々なひな人形が町を彩りました。訪れた市民や観光客は、華やかなひな飾りに目を輝かせながら、ひな巡りを楽しんでいました。

なお、今年は宿場町おはさま400年を記念した事業が予定されています。6月3日（土）、4日（日）には、大迫町で「日本ワインフェスティバル・花巻大迫」を開催、国内の多くのワイナリーが出展します。又、7月30日には、南部利直公の大名行列、記念式典などがあり、京都清水寺の貫主の森清範様の記念講演もありあります。そして8月14日には大迫あんどん祭の初日、青森県の「平川ねぶた」を招き大迫あんどん山車とのコラボレーションが計画されています。（広報はなまき3月15日号より）

## 第7回ふるさと復興支援ツアーのお知らせ

第7回目となる「在京花巻ふるさと会（大迫、石鳥谷、東和、花巻の各在京ふるさと会の合同組織）の復興支援ツアー（バス旅行）が9月8日（金）～10日（日）、在京石鳥谷町人会の幹事により実施されます。今回は、「石鳥谷祭りを観に行こう」がテーマです。

9月8日（金）丸の内駐車場を出発、常磐道から松島海岸に向かい松島湾一周、石巻で北上川河口を望んで南三陸ホテル観洋で1泊。9日（土）は厳美渓を観て花巻市の新渡戸記念館へ、その後石鳥谷祭りを鑑賞し渡温泉泊。10日（日）は石鳥谷の道の駅、南部杜氏伝承館、歴史民俗資料館などを見学して帰路につき、東京駅着18時45分を予定しています。

参加費は39,800円（2泊7食付き）、参加募集人数

は45名です。参加申し込みは、在京花巻人会副会長の高橋良光（携帯090-5448-8198）までお願いします。



石鳥谷祭り

## 第19回 岩手県人連合会 ゴルフ大会のご案内



開催日 平成29年10月11日（水）  
会場 紫カントリークラブ（あやめコース）  
千葉県野田市鶴奉463-1



募集予定人員 160名  
締切 平成29年8月31日  
問合先 高橋千代吉（電話 048-596-2013）

なお、この大会は岩手県出身の愛好家の楽しい会です。当会からも毎年多数参加していますので、どうぞお気軽にお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしています。（在京花巻ふるさと会）

## 平成29年度の主な行事予定

開催日	地区名・等	内容	会場・等	最寄り駅
6月4日	岩手県人連合会	総会&交流会	ホテルラングウッド	JR日暮里駅
7月8日	在京花巻人会	総会&つどい	東京ガーデンパレス	JR御茶ノ水駅
9月8-9-10日	石鳥谷町人会・主幹	復興支援ツアー	被災地・南三陸町～ふる里	秋祭り 等
10月21日	在京大迫人会	総会&集い	日本教育会館	東京メトロ神保町
11月5日	在京石鳥谷町人会	総会&集い	上野精養軒	JR上野駅
11月12日	在京東和町友会	総会&集い	東京ガーデンパレス	JR御茶ノ水駅
1月～2月	岩手県人連合会	新春懇親会	ホテルラングウッド	JR日暮里駅
2月3日	在京東和町友会	獅子躍 節分会	中野 新井薬師	西武新宿線新井薬師
3月～4月	在京石鳥谷町人会	桜園遊クルーズ	観桜クルーズ	地下鉄日本橋